

業務システムの最適解を目指す

Windowsシステム 拡充プロジェクト

株式会社OSK EasyPortal

Webシステムの最大のメリットは、クライアント側にプログラムをインストール／配布する必要がない点だ。システムを変更／更新するには、サーバー側のプログラムだけを修正すればよい。しかし、クライアントにWebブラウザを利用するため、操作が悪いというデメリットもある。今回紹介するのは、このデメリットを克服したWebシステムについて。

Webでも操作性は抜群！

OSKから提供されている「EasyPortal」は、グループウェア機能とポータル機能を兼ね備えたWebシステムだ。EasyPortal製品担当の三溝貴春氏は、開発当初についてこう語る。

「EasyPortalは、当初販売していたGlobalJoinusというシステムを元に構築しました。GlobalJoinusはWeb環境上で動作しますが、クライアント側に入力のための専用プログラムを配置しており、完全にWeb対応しているわけではありませんでした。しかし、お客さまから完全にWeb対応してほしいという強い要望があり、2000年に完全Web対

応したEasyPortalをリリースしました」さらに2003年には、.NETにも対応。各機能はC#で実装されているという。一体どんな機能が搭載されているのだろう。

「EasyPortalの基本機能としてグループウェア機能と、ポータル機能が搭載されています。EasyPortalを構築する際に、GlobalJoinusに組み込まれていた専用プログラムの操作を何とか損なわないように、ユーザーにとって使いやすいシステムを目指しました。EasyPortalではドラッグ&ドロップ、右クリ

ックからのコンテキストメニューの表示など、Webブラウザでは不可能な操作を実現しています」

三溝氏曰く、上記機能のなかで一番注力したのは、スケジューラ機能(図1)だとか。

「日本の企業には、スケジュールの時間帯を横棒で表示したいという独自の文化があります。EasyPortalのスケジューラ機能は、これを実現しています。

登録方法は簡単です。登録したい時間帯をドラッグするだけで、横棒を引くことができます。時間帯を変更する場



株式会社OSK
開発センター EIP開発課 シニアスペシャリスト
三溝 貴春

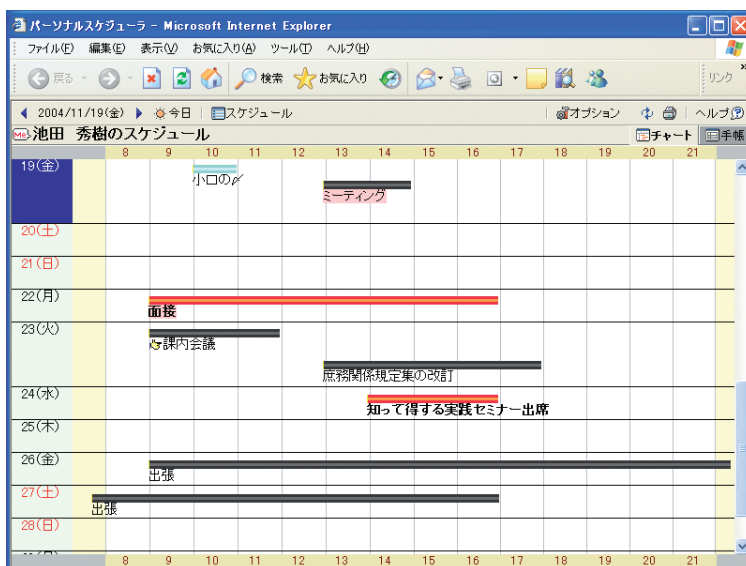


図1：スケジューラ機能

合もドラッグ&ドロップするだけです」
 そのほか、ユーザー管理機能にActiveDirectoryを採用している。ActiveDirectoryに付加されている独自の検索機能を使って、社員簿として利用することも可能だ。

パフォーマンスを落とさないための工夫

次に、このようなEasyPortalの動作を実現する仕組みについて聞いてみた。

「現在、EasyPortalは大規模から小規模までたくさんのお客さまに利用されていますが、もともとは大規模ユーザーをターゲットにしていました。そのため、大規模システムでもパフォーマンスが落ちないような仕組みを取り込んでいます。

この仕組みは、クライアント側でデータが変更されると、画面全体のHTMLを送信せずに変更部分のみをXMLデータとしてサーバーへ動的に送ります。もし、画面全体をリフレッシュすると、ネットワークのトラフィックやサーバーに負荷がかかりますので、大規模なシステムではダウンしかねません」

クライアント／サーバー間では、HTTPを利用してXMLデータをやり取りしている。.NET Frameworkを利用す

ることで、この通信処理の開発効率がアップしたという。

「.NET Frameworkには、シーケンシャルにXMLを生成するクラスが豊富に用意されています。実際にXML通信を実装する際は、いろいろ試して一番パフォーマンスがいいものを選んで使いました。また、XMLをデコード／エンコードしなくて済むので、ラクに開発できました」

しかし、クライアント画面の作成に.NETは使われていない。これにはワケがある。

「.NETというとWebフォームを利用するケースが多いかと思います。たしかに、Webフォームを利用すればサーバーに通信するためのロジックを自動で生成してくれます。しかし、同時に不要なものを含んだたくさんのHTMLも生成されるので、頻繁に入力を行なうような大規模なシステムには向かないと判断しました。そこで、JavaScriptとDynamicHTMLを使って独自に画面

を作成し、高速な通信処理や高度な操作を実現しています」

操作性の徹底追及

EasyPortalの製品構成は、表1のとおり。最新バージョン2.2では、地図機能とRSSリーダーが搭載されている。今後のEasyPortalはどのような機能を拡充してゆくのだろうか。

「最近のお客さまは、Windowsアプリケーション並みの操作を要求しています。たとえば、Webブラウザであるにもかかわらず、ローカルにデータを保持して操作したいというニーズも多いんですよ。そういった要求があまりにも多いので“Webシステムだから実現できない”では済まされない状況です。現在、スマートクライアントの技術を使って、このニーズに応えることができないか検討しています」

EasyPortalの操作性の追求に終わりはない。ますます進化してゆくことだろう。

表1：製品構成

エディション	添付データベース
ライトモデル	SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE)
スタンダードモデル	SQL Server 2000 Standard Edition
2CPUモデル	SQL Server 2000 Standard Edition×2
エンタープライズモデル	なし (Exchange Serverは別途購入する必要あり)

拡充のポイント

- Webシステムでありながら、Webブラウザでは不可能な操作を実現
- クライアント側でデータの更新を行なうと、動的に更新データだけをサーバーに送る。この仕組みにより、ハイパフォーマンスを提供